

大樹の如く

～未来を切り拓き新たな価値を導こう～

題字 理事長 木下 淳

一般社団法人
安来青年会議所
広報誌ふれあい



<新型コロナウイルスに関する緊急提言> JCI

1、経済対策について

- (1) 持続化給付金から漏れる事業者への自治体独自の給付金支援制度の創設及び持続化補助金等の自治体独自の補助
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策「ふるさと安来てごすーよ基金」の創設(ふるさと納税制度の利用)
- (3) クラウドファンディング型の地域飲食業等応援プログラムの設立
- (4) 中小企業・小規模事業者向け家賃補助制度の創設

2、個人支援について

- (1) 感染拡大による影響で収入が減少している世帯向け現金給付制度の創設
- (2) 感染拡大による影響で収入が減少している世帯の児童手当に、自治体独自の上乗せを実施

3、収束後の対策について

- (1) 期限付きの応援食事券・宿泊券など、地元の店で消費を促進する施策の実施

4、その他の対策について

- (1) 新型コロナウイルス対策としての、地域市民、事業者向け支援策メニューの周知並びに申請代行についてのフォロー
- (2) 各種行政手続きの完全オンライン化の実施
- (3) 臨時休校中でも学生に対して学習指導ができるシステムづくり(今後のため)

日頃より安来市にお住まいの皆様には、安来青年会議所に対しましてご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、安来市内の飲食・宿泊業をはじめ、大きな経済的損失が生じている事業所の皆様におかれましては、経験したことのない非常事態に不安と焦り、ご心労はいかばかりかとお察し申し上げます。私たち安来青年会議所では、安来市内の事業所を対象に新型コロナウイルスに伴う影響調査アンケートを実施し、その結果に基づき、事態の収束と市民生活の安定、収束後の経済再建に向けて緊急提言書を作成し、5月14日に安来市長へ提出して参りました。

そして5月下旬には安来市独自の給付金や一人親家族の支援、ふるさと納税による支援など多くの項目が安来市の独自支援策として実現しました。これも提言書により私たち安来市民の思いが届いた



理事長 木下 淳

結果ではないでしょうか。今後も皆様と共に各種問題に取り組み安来市の発展に努めて参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。